

ブログ「中東と石油」(日本語): [https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki\\_1943](https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

ホームページ MY LIBRARY(日本語): <http://mylibrary.maeda1.jp/>

エネルギー総合: <http://mylibrary.maeda1.jp/oilandgas.html>

マイライブラリーNo.: 0488

2019.12.14

### 「OPEC+(プラス)」の減産強化は持続可能な路線か？

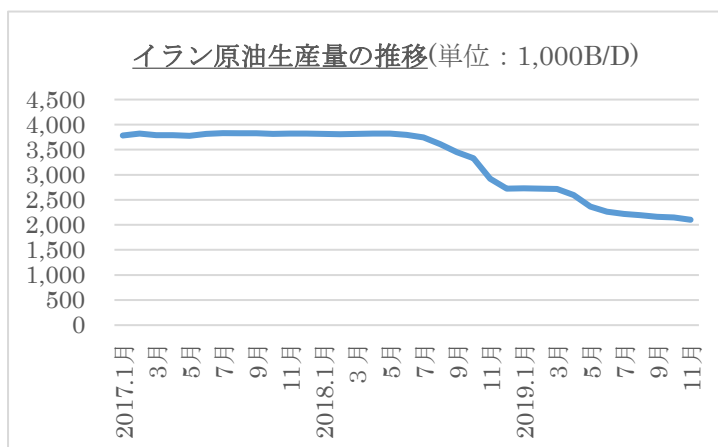


12月5日に第177回OPEC総会が<sup>1</sup>、そして翌6日にはOPEC及びOPECと協調するロシアなど産油10か国、いわゆるOPEC+(プラス)による第7回閣僚会合が<sup>2</sup>オーストリアのウィーンで開かれ、協調減産を強化することが決定された。

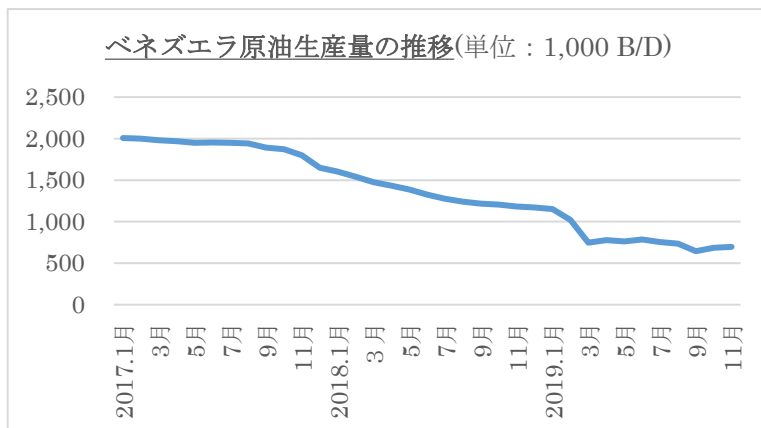
これによりOPEC+はこれまで実施してきた120万B/Dの減産目標をさらに50万B/D上乗せし170万B/Dとすることとなった。加えてサウジアラビアは40万B/Dを自主減産すると表明している。減産期間は来年第1四半期とされ、結局、OPEC+全体で来年1月から3月末まで210万B/Dの減産体制をとることになったのである。これは世界の原油生産量のほぼ2%に相当する。

(末尾表「OPEC+(プラス)の協調減産量」参照)。

世界の石油市場はこの決定に敏感に反応、Brent原油及びWTI原油はそれぞれ64.59ドル/バレル、59.49ドル/バレルに急騰した<sup>3</sup>。



OPEC加盟14か国のうち協調減産の対象となっているのは10か国であり、イラン、リビア、ベネズエラ及びエクアドルは米国の経済制裁あるいは内戦により生産量が激減もしくは不安定であることを理由に協調減産の対象外とされている。



目標生産量(Production Level)が 150 万 B/D を超えるのは OPEC ではサウジアラビア(974 万 B/D、自主減産量 40 万 B/D を含む)、イラク(446 万 B/D)、UAE(301 万 B/D)、クウェイト(267 万 B/D)及びナイジェリア(166 万 B/D)の 5 カ国、非 OPEC 協調減産国ではロシア(1,112 万 B/D)、メキシコ(196 万 B/D)及びカザフスタン(184 万 B/D)の 3 カ国であり、特にサウジアラビアとロシアは 1 千万 B/D 前後と飛びぬけて高い。

従来の減産量 120 万 B/D の配分は OPEC が 80 万 B/D、非 OPEC が 40 万 B/D である(厳密には OPEC 事務局公表資料ではそれぞれ 81.2 万 B/D、38.3 万 B/D、合計 119.5 万 B/D)。また今回の追加減産 50 万 B/D の配分は OPEC 37.2 万 B/D、非 OPEC 13.1 万 B/D である。国毎の個別減産目標量は OPEC 事務局が公表しているが、サウジアラビアの自主申告分を含めた減産目標 210 万 B/D を国別で見ると、サウジアラビアが 88.9 万 B/D と最も多く、次いでロシアが 30 万 B/D である。その他比較的減産量が多い国はイラク(19.1 万 B/D)、UAE(15.5 万 B/D)、クウェイト(14 万 B/D)などである。

OPEC 月次レポート 11 月号<sup>4</sup>によれば、加盟各国の 10 月の生産量はサウジアラビア 989 万 B/D(因みに来年 1 月以降の目標生産量は 974 万 B/D)、イラク 469 万 B/D(同 446 万 B/D)、UAE 311 万 B/D(同 301 万 B/D)であり、またロシアエネルギー省のデータによれば<sup>5</sup>同国の 10 月生産量は 1,124 万 B/D である(1 月以降の目標生産量は 1,112 万 B/D)。10 月生産量と来年 1 月以降の目標生産量の乖離はイラクの 23 万 B/D が最も大きく、サウジアラビアは 15 万 B/D、ロシアは 12 万 B/D、UAE 9 万 B/D である。来年 1 月以降各国いずれも大なり小なり追加減産が必要であることがわかる。

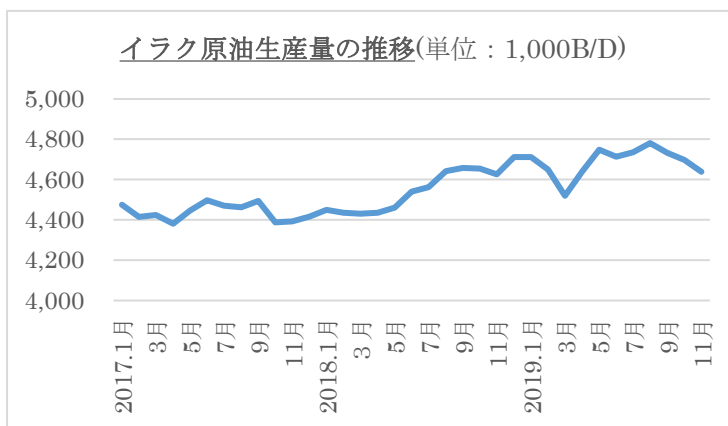
会議の前評判では追加減産幅は 40 万 B/D 程度<sup>6</sup>、期間は 6 か月またはそれ以上と言われていた。しかし実際には追加減産は 50 万 B/D に増え、逆に期間は現行 120 万 B/D 減産体制の期限である来年 3 月末までの 3 か月間とされた。サウジアラビアは減産強化を強く主張しており、一方、ロシアは減産強化に懐疑的であったと言われる<sup>7</sup>。5 日の OPEC 総会ではかなり長時間の議論が交わされたが結論が出ず、翌 6 日の OPEC+ 閣僚会議でようやくまとまったと報道されており<sup>8</sup>、3 月末まで、50 万 B/D の追加削減はサウジアラビアとロシアの妥協の産物と見て間違いのないであろう。

それではこの追加減産によって OPEC+ が期待するような原油価格のアップが実現するのであろうか？ 確かに会議直後に Brent、WTI 原油価格は 2% ほど急騰している。しかし今後高値が継続するかと言えば、問題はそれほど単純ではない。OPEC+ の内外に価格アップの足を引っ張る要因がいくつか見られるから

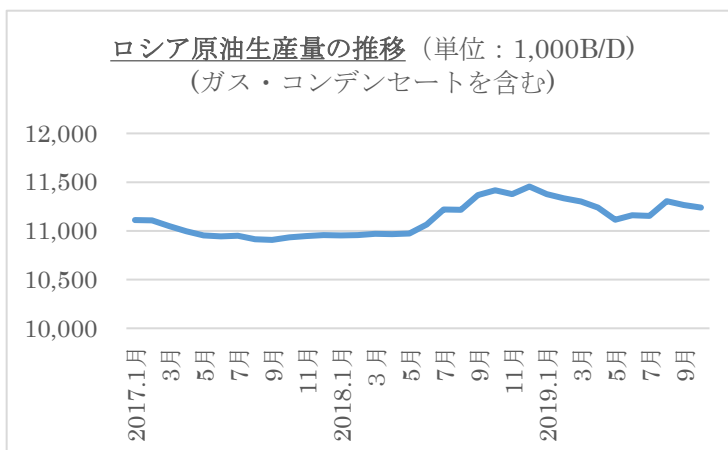
である。

最大の外部要因は米国のシェールオイルの増産である。生産量ベースでは米国はすでにロシア、サウジアラビアを上回る世界一の石油生産国である<sup>9</sup>。さらに米国は昨年 75 年ぶりに石油の純輸出国となっている<sup>10</sup>。米国産の石油が国際市場をかき回す時代に入ったのである。米国原油が純粋に経済原理だけで取引されるとは考えにくい。世界の覇者を目指すトランプ大統領は石油を交渉の切り札として、ロシアあるいはサウジアラビアをけん制する道具に利用するであろう。

最近では OPEC の市場支配力が弱まり石油は買い手市場である。価格には下向きの圧力が強い。サウジアラビアは財政均衡のために原油価格として 75 ドル/バレル以上を期待しているがその目標は遠い。ブラジルなど OPEC+、米国以外の産油国も増産を志向している。敵は石油だけではない。オーストラリア、カタールなどが相次いで LNG の増産を目指し、さらに地球温暖化問題では石油が目の敵にされつつある。



減産強化の足を引っ張る動きは OPEC+ の内部にもある。イラク及びナイジェリアは減産割り当てを遵守しない状況が続いている。ロシアも厳冬期の生産削減の難しさ、あるいは自国生産量にはガス・コンデンセートが含まれているのでこれを差し引いた生産量で評価してほしいなどと弁明に明け暮れている(コンデンセート問題はロシアの言い分に一理はあるが<sup>11</sup>)。



結局重荷を負うのはサウジアラビアである。1月以降の減産枠 210 万 B/D のうち、サウジー国で 4 割強の 89 万 B/D を負担することになる。ただサウジアラビアは現在ムハンマド皇太子が脱石油を目指した Vision2030 政策を推進している真っ最中であり、資金がいくらあっても足りない状況である。アラムコの株式売却はそのためであったが、海外での上場の思惑がはずれ資金不足気味であることは間違いない。石油価格が低迷し減産割り当てを続ければサウジアラビアは野心的なプロジェクト推進どころか、国家財政すら脅かされる羽目になる。

今後の原油価格に明るい見通しが持てない中でサウジアラビアはチキンレースを強いられている。OPEC+の減産強化が果たして「持続可能なゴール(Sustainable Development Goal, SDG)」なのか？今回のOPEC+協調減産強化はOPEC+の盟主サウジアラビアの耐久力が問われているとも言えよう。

以上

本件に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

[maeda1@jcom.home.ne.jp](mailto:maeda1@jcom.home.ne.jp)

---

## 1-D-2-35

## 「OPEC+(プラス)」の協調減産量

国名	基準生産量 (A)	減産量 1(from Jan, 2019)(B) *	減産量 2(from Jan. 2020)(C) **	自主減産 (D)	目標生産量 (E=A-B-C- D)	(参考)2019 年 10 月生 産量(F)***
アルジェリア	1,057	-32	-12		1,013	1,019
アンゴラ	1,528	-47			1,481	1,356
コンゴ	325	-10	-4		311	325
エクアドル	524	-16	(対象外)		(対象外)	448
エクアトール・ギニア	127	-4	-1		122	125
ガボン	187	-6	-2		179	207
イラン	(対象外)	(対象外)	(対象外)		(対象外)	2,146
イラク	4,653	-141	-50		4,462	4,690
クウェイト	2,809	-85	-55		2,669	2,674
リビア	(対象外)	(対象外)	(対象外)		(対象外)	1,167
ナイジェリア	1,738	-53	-21		1,664	1,811
サウジアラビア	10,633	-322	-167	-400	9,744	9,890
UAE	3,168	-96	-60		3,012	3,106
ベネズエラ	(対象外)	(対象外)	(対象外)		(対象外)	687
<b>OPEC 小計</b>	<b>26,749</b>	<b>-812</b>	<b>-372</b>	<b>-400</b>	<b>24,657</b>	<b>29,651</b>
アゼルバイジャン	796	-20	-7		769	N.A.
バハレーン	227	-5	-2		220	N.A.
ブルネイ	131	-3	-1		127	N.A.
カザフスタン	1,900	-40	-17		1,843	N.A.
マレーシア	627	-15	-5		607	N.A.
メキシコ	2,017	-40	-18		1,959	N.A.
オマーン	995	-25	-9		961	N.A.
ロシア	11,421	-230	-70		11,121	11,240
スーダン	74	-2	-1		71	N.A.
南スーダン	132	-3	-1		128	N.A.
<b>非 OPEC10 小計</b>	<b>18,320</b>	<b>-383</b>	<b>-131</b>	<b>0</b>	<b>17,806</b>	
<b>OPEC+(プラス)合計</b>	<b>45,069</b>	<b>-1,195</b>	<b>-503</b>	<b>-400</b>	<b>42,463</b>	

\* 減産量 1(Adjustment 1):

[https://www.opec.org/opec\\_web/static\\_files\\_project/media/downloads/press\\_room/Voluntary%20production%20adjustments%20table%20att%20PR12019.pdf](https://www.opec.org/opec_web/static_files_project/media/downloads/press_room/Voluntary%20production%20adjustments%20table%20att%20PR12019.pdf) (by OPEC HQ)

\*\* 減産量 2(Adjustment 2):

[https://www.opec.org/opec\\_web/static\\_files\\_project/media/downloads/press\\_room/Additional%20adjustment%20volumes.pdf](https://www.opec.org/opec_web/static_files_project/media/downloads/press_room/Additional%20adjustment%20volumes.pdf) (by OPEC HQ)

\*\*\* 2019 年 10 月生産量(Actual production in Oct., 2019): OPEC Monthly Report, Nov. 2019 & Ministry of Energy of Russian Federation(<https://minenergo.gov.ru/en/activity/statistic>)

- 
- <sup>1</sup> OPEC 177th Meeting concludes  
2019/12/6 OPEC Press Release  
[https://www.opec.org/opec\\_web/en/press\\_room/5794.htm](https://www.opec.org/opec_web/en/press_room/5794.htm)
- <sup>2</sup> The 7th OPEC and non-OPEC Ministerial Meeting concludes  
2019/12/6 OPEC Press Release  
[https://www.opec.org/opec\\_web/en/press\\_room/5797.htm](https://www.opec.org/opec_web/en/press_room/5797.htm)
- <sup>3</sup> Opec, allies agree to additional 500,000 bpd oil output cuts  
2019/12/6 Khaleej Times  
<https://www.khaleejtimes.com/business/energy/opec-allies-agree-to-additional-500000-bpd-oil-output-cuts>
- <sup>4</sup> OPEC Monthly Market Report, 14 November 2019  
[https://www.opec.org/opec\\_web/static\\_files\\_project/media/downloads/publications/opec\\_momr\\_november\\_2019\\_archive.pdf](https://www.opec.org/opec_web/static_files_project/media/downloads/publications/opec_momr_november_2019_archive.pdf)
- <sup>5</sup> ロシアエネルギー省データベース : <https://minenergo.gov.ru/en/activity/statistic>
- <sup>6</sup> Russia yet to finalize stance before OPEC+ considers deeper oil cuts  
2019/12/3 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1593421/business-economy>
- <sup>7</sup> Russia vows cooperation with OPEC to keep oil market balanced  
2019/11/21 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1587331/business-economy>
- <sup>8</sup> 「減産 50 万バレル拡大で合意」  
12/6 日付日本経済新聞
- <sup>9</sup> 拙稿「BP エネルギー統計 2019 年版解説シリーズ石油編」参照。  
<http://mylibrary.maeda1.jp/0474BpOil2019.pdf>
- <sup>10</sup> US just became a net oil exporter for the first time in 75 years  
2018/12/6 The Peninsula  
<https://www.thepeninsulaqatar.com/article/06/12/2018/US-just-became-a-net-oil-exporter-for-the-first-time-in-75-years>
- <sup>11</sup> Russia vows cooperation with OPEC to keep oil market balanced  
2019/11/21 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1587331/business-economy>